Weather Station 用ネットワークサーバ

Weather Wing 導入マニュアル

WS-2

* 導入マニュアルでは、簡単な動作・設定の流れを説明します。
本製品の詳しい機能説明は、付属の CD-ROM 内の取扱説明書 (.pdf) をご覧ください。

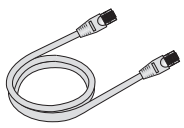
* Weather Wing WS-2 は、コンソール（Davis 社の気象観測装置 Vantage PRO / PRO2 ™) と接続し、その気象データをリアルタイムに見ることが出来る装置です。RS-232C、USB などの通信インターフェイスは搭載しておりませんので、本製品を使用する際は、必ずネットワークに接続してください。

パッケージ内容

パッケージには WS-2 本体以外に以下のものが含まれております。

付属ソフトウェア
CD-ROM　1 枚

AC アダプタ　AD-0605
1 個



LAN ケーブル　LN-20W
1 本

導入マニュアル
（保証書）（本書）1 部

株式会社 ティアンドデイ
〒 390-0852 長野県松本市島立 817-1　TEL:0263-40-0131 FAX:0263-40-3152

© Copyright　T&D Corporation.　All rights reserved.

2010.10　16507040001　第 4 版
再生紙を使用しています。

安全上のご注意　※安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お客様や他の人々への危害や財産への損壊を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために必ずお読みになり、内容を良く理解された上でご使用ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと使用者が死亡 または 重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと使用者が傷害 および 物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	警告・注意を促す記号です。記号の中や近くに具体的な警告内容が書かれています。（例：⚠感電注意）
⃠	禁止行為を示す記号です。記号の中や近くに具体的な禁止内容が書かれています。（例：⃠水場での使用禁止）
●	実行しなければならない行為を示す記号です。記号の中や近くに具体的な指示内容が書かれています。（例：電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

分解禁止
本製品の分解や改造、修理は自分でしないでください。
火災や感電の恐れがあります。

ぬれ手禁止
濡れた手で AC アダプタの抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

発火注意
本製品内部に液体や異物が入ってしまった場合は、すぐに AC アダプタを抜き、使用を中止してください。
そのまま使い続けると火災や感電の恐れがあります。

厳守
煙が出たり変な臭いや音がした場合は、すぐに AC アダプタを抜き、使用を中止してください。
そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。

厳守
本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに AC アダプタを抜き、使用を中止してください。
そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。

厳守
AC アダプタのプラグのほこりなどは定期的に取るようにしてください。
プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

厳守
本体・LAN ケーブル・AC アダプタ等は、お子様の手の届かない所に設置・保管してください。
さわって怪我をしたり、落下すると危険です。

厳守
本製品を取り付け、使用する際、必ずパソコンメーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

水場での使用禁止
風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

⚠注意

厳守
本製品は防水構造ではありません。
汚れた場合は、アルコールを染み込ませた清潔な布で拭いてください。

厳守
本製品の故障・誤作動・不具合などによりシステムに発生した付随的障害および 本製品を用いたことによって生じた損害に対し、当社は一切責任を負いかねません。あらかじめご了承ください。

厳守
本製品は一般の民生・産業用として使用されることを前提に設計されています。人命や危害に直接的 または 間接的に関わるシステムや医療機器など、高い安全性が必要とされる用途にはお使いにならないでください。

禁止
薬品や有機ガス等により本製品等が腐食する恐れがあります。また、有害な物質が付着することにより人体に害をおよぼす恐れがありますので、薬品や有機ガス等の影響を受ける環境では使用しないでください。

禁止
AC アダプタの上に物を載せないでください。
発熱の恐れがあります。

厳守
温度差の激しい環境間を急に移動した場合、結露する恐れがあります。
本製品は周辺温度：0 ～ 50℃・湿度：20 ～ 80% RH 以下（結露しないところ）で使用してください。
また、無線 LAN カード使用時は、無線 LAN カードの仕様に従ってください。

厳守
LAN ケーブル・AC アダプタは、接触不良が起きないように確実に差し込んでください。

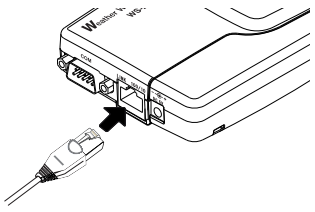
厳守
ケーブルを本体から抜くときは、必ずコネクタを持って抜いてください。

厳守
静電気による破損を防ぐため、本製品に触る前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシ等）に触れ、身体の静電気を取り除いてください。
人体等の静電気で本製品の破損やデータを損失・破損の恐れがあります。

禁止
本製品を次のような場所で使用・保管しないでください。
感電や火災の原因になったり、本製品やパソコンに悪影響をおよぼす恐れがあります。
- **直射日光の当たる場所**
  内部の温度があがり、火災や故障、変形の原因になります。
- **強い磁界を発生する場所**
  故障の原因になります。
- **漏水の危険がある場所**
  故障や感電の原因になります。
- **振動が発生する場所**
  怪我・故障・破損・接触不良の原因になります。
- **平らでない場所**
  転倒したり、落下して怪我や故障の原因になります。
- **火気の周辺 または 熱気のこもる場所**
  故障や変形の原因になります。
- **火煙・ほこり・ちりの多い場所**
  故障の原因になります。

1.WS-2 の準備

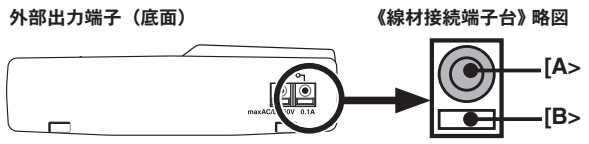
① LAN ケーブルを接続する



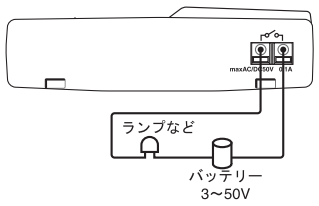
・初期設定時は、パソコンと同一ローカルネットワークまたは同ドメインネットワークに接続してください。
・接触不良にならないように確実に差し込んでください。

② 出力信号線を接続する（接点出力が必要な場合）

1. Φ0.5 ～ 0.9 の単芯の配線用の綿材を別途用意し、被覆は 10mm ほど剥いでください。
2. ドライバなどを使い、本体側面にあたる綿材接続の端子台の [B] ボタンを押しながら [A> の穴に差し込みます。

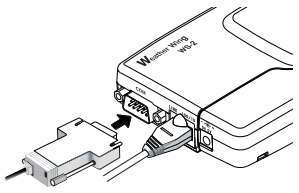


【出力信号接続例】



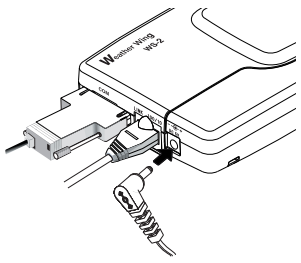
■ ON ／ OFF 出力信号
フォト MOS リレー出力
OFF 時の電圧 AC/DC50V 以下
ON 電流 0.1A 以下
ON 抵抗 35 Ω

③ コンソールを接続する



・接触不良にならないように確実に差し込んでください。
・両サイドのネジでしっかり固定してください。

④ AC アダプタを接続する



- 接触不良にならないように確実に差し込んでください。
- 付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。火災等が発生する恐れがあります。
- AC アダプタは、AC100V コンセントへ差し込んでください。他の電圧に差し込んだ場合、火災等が発生する恐れがあります。
- AC アダプタを抜き差しする時は、水滴が付着した状態または濡れた手でプラグに触れないでください。感電する恐れがあります。

パソコンの動作環境

OS	Microsoft® Windows® 7 32/64bit 日本語版 Microsoft® Windows Vista® 32bit 日本語版 Microsoft® Windows® XP 32bit (SP2 以降)* 日本語版 Microsoft® Windows® 2000 日本語版
PC / CPU	Windows が安定して動作する環境　LAN・TCP / IP 通信が使用可能
メモリ容量	Windows が安定して動作する容量
ディスク領域	20MB 以上の空き領域（データは別途空き領域が必要）
モニタ	VGA（640 x 480）以上推奨 / 256 色以上表示可能
LAN	100BASE-TX または 10BASE-T, カテゴリ 5 準拠ツイストペアケーブル（STP / UTP）
ウェブブラウザ	Internet Explorer 6.xx（日本語版）以降
その他	Macromedia Flash Player（Ver.7 以上）

*Windows XP SP2 以降を使用される場合は、インターネットセキュリティの影響で警告メッセージや信頼済サイト追加のメッセージが表示される場合があります。また、高度のセキュリティを設定されている場合は、正常にブラウザ表示が行えない場合がありますので注意してください。

2. インストール

●Windows® は正常に動作しますか？

Windows が正常に動作しないと、WS-2 for Windows の中のソフトウェアも正常にインストールまたは起動できないことがあります。

●アプリケーションを終了してください。

他のアプリケーションが動作している場合はすべて終了させてください。ウィルスチェックプログラム等の常駐ソフトがありましたら、終了させてください。

・WS-2 for Windows をインストールするパソコンでは、アドミニストレータ（パソコンの管理者）の権限が必要です。

① Windows を起動します。

② 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
しばらくすると " インストールプログラム " ウィンドウが開きます。

＊ 自動的に " インストールプログラム " 画面が開かない場合は、CD-ROM ドライブを開いて、手動で起動してください。また、CD-ROM ドライブを開いた後、CD-ROM のフォルダ内が表示された場合、CD-ROM 内の "start.exe" を実行してください。

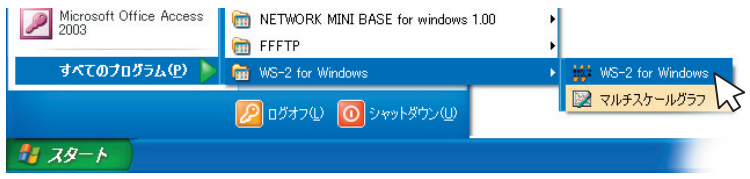
③ [WS-2 for Windows のインストール] を選択し、[実行] ボタンをクリックすると、インストールを開始します。

④ 内容を確認しながら、指示に従ってインストールを行ってください。

⑤ インストールが完了すると Windows のスタートメニューのプログラムに WS-2 for Windows が登録されます。

3. ネットワーク設定ユーティリティを起動する

Windows の [スタート] メニューのプログラムの中から WS-2 for Windows をクリックすると、起動します。



WS-2 for Windows の使い方は、CD-ROM 内の取扱説明書またはソフトウェアの中のヘルプで詳しく説明しています。

WS-2 設定ユーティリティ

WS-2 設定で、ネットワークの初期設定、メールサーバの設定などができます。

⚠注意

- WS-2 for Windows を複数のパソコンから起動すると、正しく動作しない場合があります。同一ネットワーク（同一のブロードキャストドメイン）内で、1 台のパソコンから起動してください。

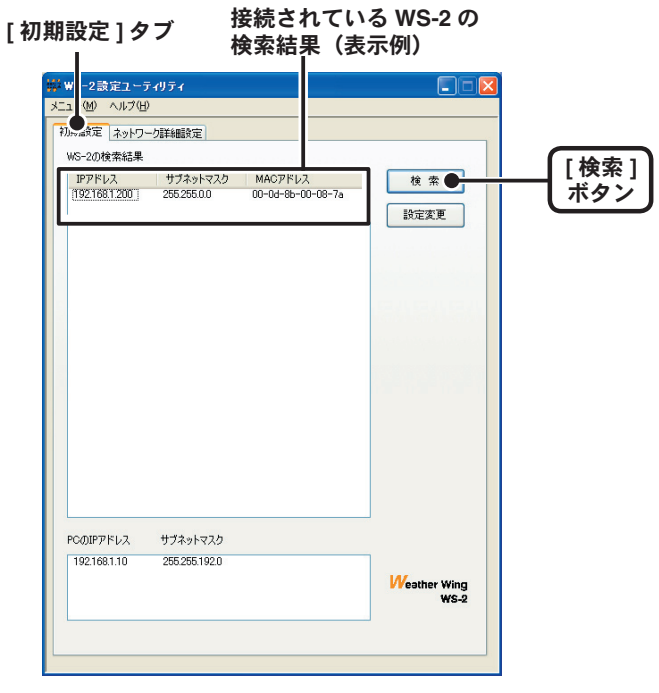
4. 初期設定

WS-2 をネットワークに接続するには、ネットワーク環境に合った IP アドレスとサブネットマスクの設定が必要です。

・ご購入直後の WS-2 はすべて同じ IP アドレスが設定されています。IP アドレスの変更は 1 台ずつ接続して行ってください。
・同じ IP アドレスの機器を同一のネットワークに接続しないでください。
・ルータを経由した外部のネットワークに接続してしまうと、初期設定が行えません。

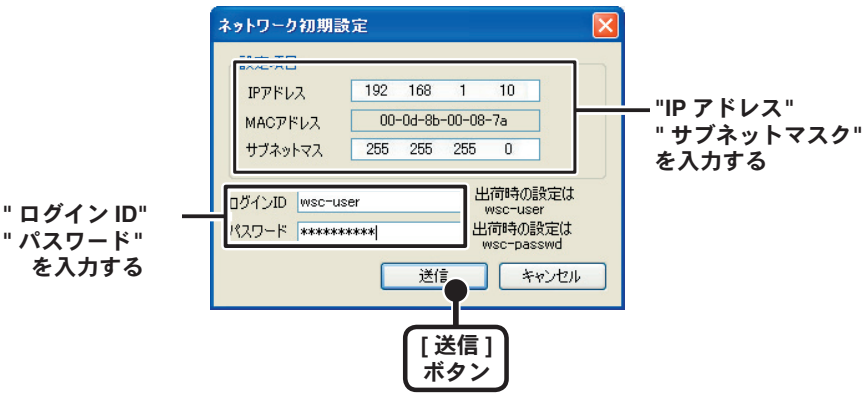
① WS-2 を有線でネットワークへ接続します。
必ず本アプリケーションソフト WS-2 for Windows を起動しているパソコンと同一のネットワークに接続してください。

② [初期設定] タブをクリックし、[検索] ボタンをクリックします。
数秒後、接続されている WS-2 の検索結果が表示されます。



③ IP アドレスとサブネットマスクを入力します。

* お客様のネットワーク環境に合った IP アドレスとサブネットマスクを設定してください。
* 他の機器と同じ IP アドレスを設定しないでください。ネットワークシステム全体が異常になる場合があります。



④ ログイン ID とパスワードを入力します。

出荷時状態 : ログイン ID = wsc-user / パスワード = wsc-passwd

* この画面ではログイン ID とパスワードの設定、および変更はできません。[ネットワーク詳細設定] で変更できます。

⑤ 入力に誤りがないか確認し、[送信] ボタンをクリックすると [送信完了] のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると設定が完了します。

* WS-2 は設定後に自動的に再起動します。再起動中の WS-2 は [検索] ボタンをクリックしても検索されません。1 分ほど時間をおいてから検索してください。

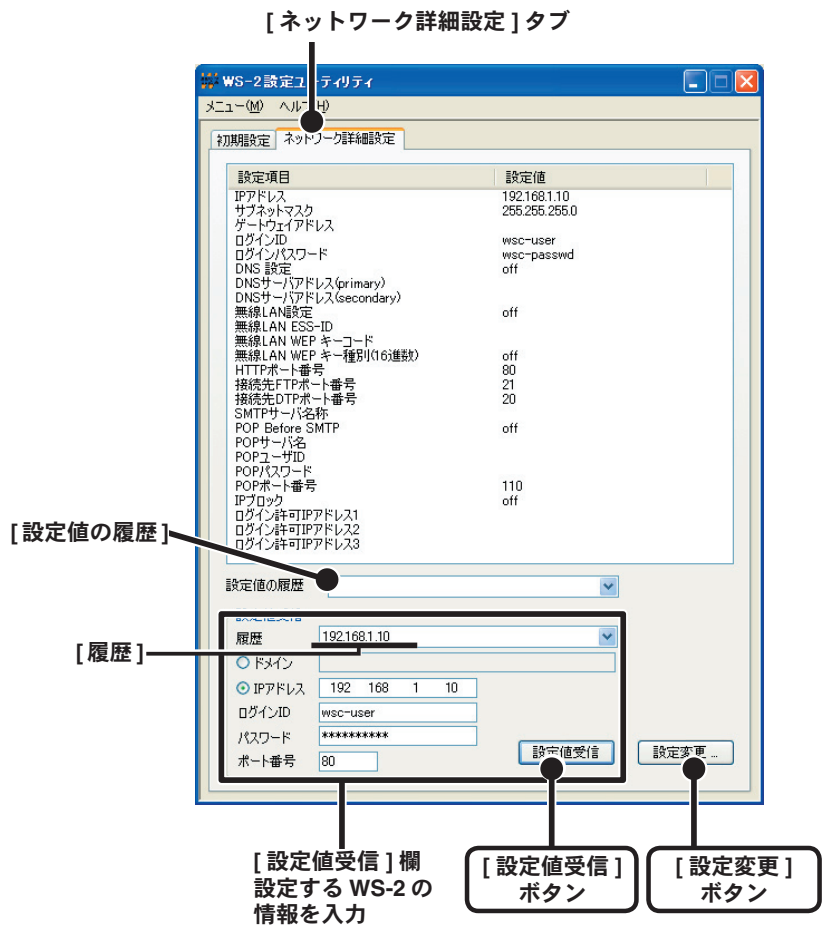
5. ネットワーク詳細設定

WS-2 のネットワーク初期設定後、さらに細かいネットワークの設定ができます。
※この設定を行うには、すでに、正しい IP アドレスが設定されていることが前提です。

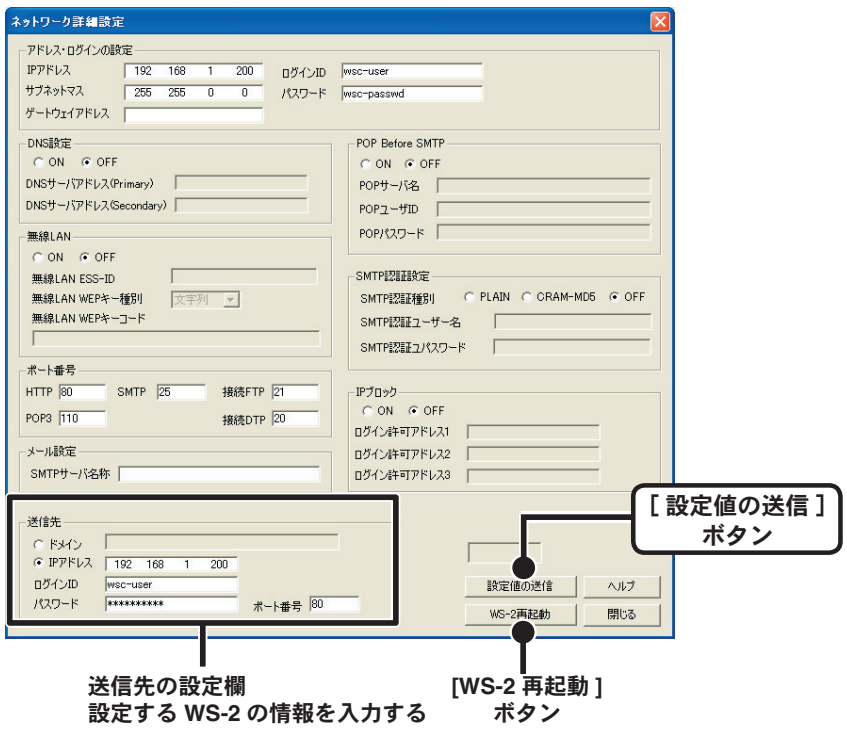
① [ネットワーク詳細設定] タブをクリックします。

② " 設定値受信 " 欄に設定する WS-2 の情報を入力し、[設定値受信] ボタンをクリックすると、設定値を一覧表示します。

* 今まで通信が成功した WS-2 の IP アドレスまたはドメイン名が " 設定値受信の履歴 " に表示されます。
* ここから IP アドレスやドメインを指定すると、ログイン ID・パスワード・ポート番号が自動的に入力されます。
* メニューより " ログイン履歴 " を " 無効 " にしてある、または " ログイン履歴のクリア " によりログイン履歴をクリアした場合は " 設定値受信の履歴 " は表示されません。
* " 設定値履歴 " をクリックして設定値受信もできます。



③ [ネットワーク詳細設定] タブ画面（前ページ参照）の、右下にある [設定変更] ボタンをクリックし、" ネットワーク詳細設定 " 画面を開き、設定の変更を行ってください。



④ 設定値の送信先の情報を入力し、[設定値の送信] ボタンをクリックすると、送信先（WS-2）にデータが送信されます。

⑤ データ送信後 " 再起動しますか？ " というメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると WS-2 を再起動します。

- WS-2 を再起動しないと、設定は有効になりません。

6.Weather Display Live を開く

WS-2 はコンソールに対応しています。コンソール側の設定を、ガイドに従って行ってください。

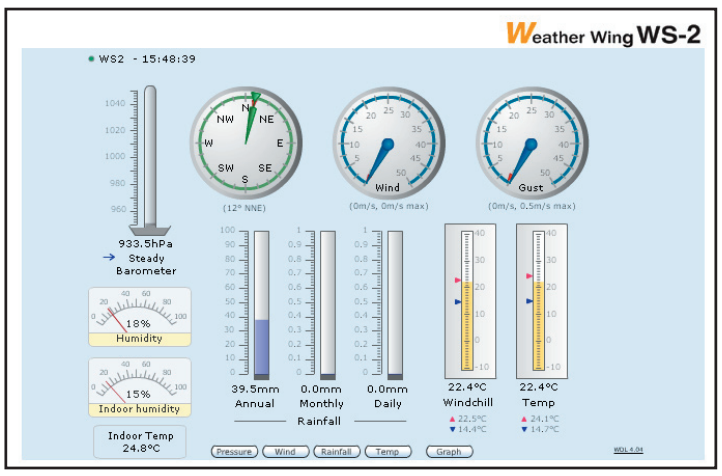
① Internet Explorer を起動します。

* インターネットへ接続して使用する場合は、ルーターとパソコンの電源を入れ、インターネットにつながっている状態にしておいてください。
* Cookie（クッキー）が使えるようにブラウザの設定をしておいてください。
* Java アプレットと Java スクリプトが使えるように設定をしておいてください。

② アドレス部分に、表示したい WS-2 のアドレスを入力し、[Enter] キーを押すと、コンソールが接続されているか確認する画面が表示されます。

③ 確認できると、自動的に Weather Display Live の画面に切り替わります。

Weather Display Live



■ Flash ダウンロード　http://www.adobe.co.jp/

Weather Display Live を表示するには Macromedia Flash Player（Ver.7 以上）が必要です。Adobe Macromedia Flash Player ダウンロードセンター よりインストールしてください。

* Flash のインストールは、内容をご確認の上、ご利用者の責任で行ってください。

■携帯電話から現在値を確認する

Weather Display Live を表示する URL に、携帯電話からアクセスして現在値を確認できます。

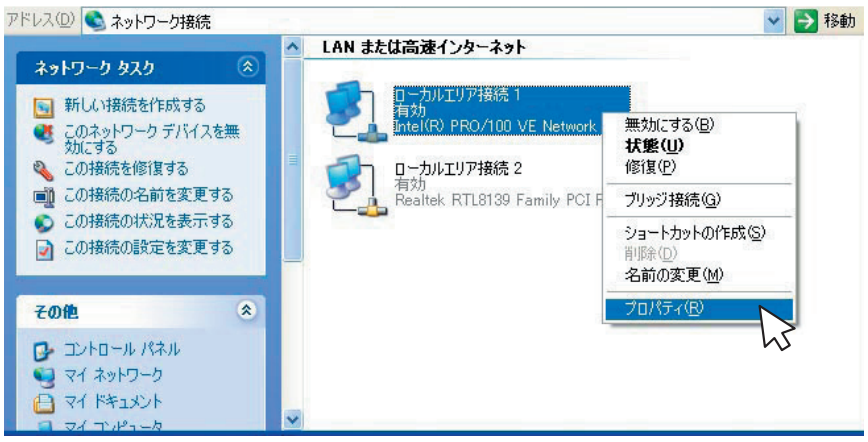
* 全ての携帯電話で表示できるとは限りません。
* インターネット上に WS-2 が公開されている必要があります。

7. パソコン側のネットワーク設定確認と変更

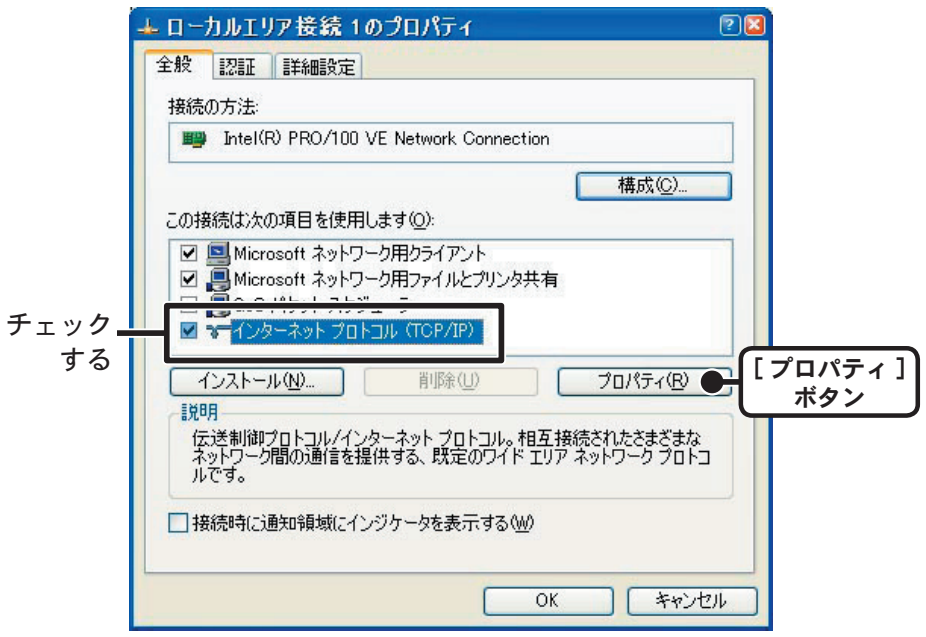
ネットワーク環境によっては、パソコン側の IP アドレス、サブネットマスクなどのネットワーク設定を変更しないと検出できない場合があります。
下記の手順で、パソコン側のネットワーク設定の確認・変更を行ってください。

① コントロールパネルより " ネットワーク接続 " を開きます。

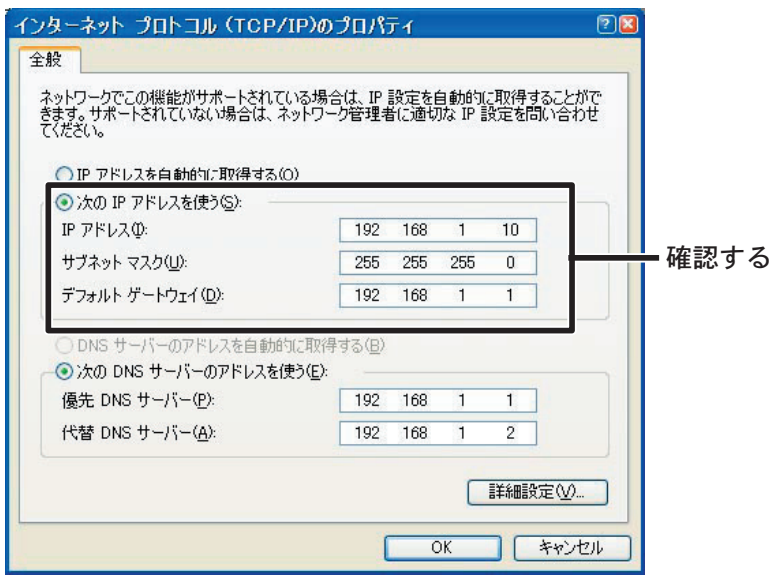
② 使用しているネットワークアダプタを選択し、マウスの右ボタンをクリックし、プロパティを開きます。



③ [全般] タブ内の [この接続は次の項目を使用します] より " インターネットプロトコル(TCP / IP)" を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。

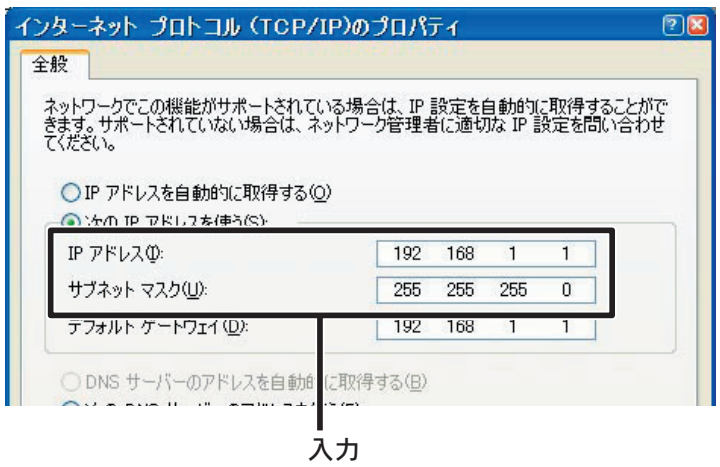


④ " インターネットプロトコル (TCP/ IP) のプロパティ " 画面の " 次の IP アドレスを使う " に表示されている IP アドレスとサブネットマスクがあっているか確認します。



⑤ 現在設定されている "IP アドレス " サブネットマスク " デフォルトゲートウェイ " 優先 DNS サーバー " 代替 DNS サーバー " の設定値を、後ほど元に戻すために全て控えておきます。

⑥ IP アドレスに "192.168.1.1"、
サブネットマスクに "255.255.255.0" と入力します。



⑦ 入力後、[OK] ボタンをクリックします。

⑧ ③で表示したネットワークアダプタの " プロパティ " 画面の [OK] ボタンをクリックして閉じます。

⑨ 再度 "WS-2 設定ユーティリティ " で検索を行い、ネットワークに接続されている WS-2 の IP アドレスが表示されているか確認します。

⑩ 正常に表示されたら、ネットワークの初期設定を行ってください。

⑪ ネットワークの初期設定終了したら、1. ～ 4. の手順で再度 " インターネットプロトコル（TCP/ IP）のプロパティ " を開き、控えておいた "IP アドレス "サブネットマスク "デフォルトゲートウェイ " 優先 DNS サーバー "代替 DNS サーバー " の設定値を元に戻し、[[OK] ボタンをクリックします。

⑫ ブラウザを起動して、設定ユーティリティで設定したアドレス（URL）を入力し、正常に表示できるかご確認下さい。

* 企業ネットワーク等特殊な環境下であるなど、上記手順を行っても正常に表示できない場合は、ネットワークを管理している管理者へご相談ください。